

雜 錄

戦争と鋼 (A. H. Habaru, Iron and Steel, May. 10, 1940)

9月初旬に於ける我々の豫想に反し Belgium 及 Luxembourg の製鐵業は歐洲大戰に依る悪影響が無かつた。Luxembourg の諸工場は戦線を距る數哩の内にあり又 Belgium の諸工場はその鐵石の大部分を佛蘭西よりの供給に仰いで居るにも不拘、之等諸工場の生産は増大し、今や兩國は世界に於ける大製鐵國として米合衆國、獨逸、露西亞、英國、佛國の次に位するに至た。以下兩國に就て各別に記述しやう。

Belgium の工業 Belgium の製鐵業の殆んど總ては今日 Liège 及 Charleroi の兩炭鐵地區に存在するが、高爐にコークスが使用さるゝ以前は薪炭に依て操業さるゝ數多の高爐が東部、Wallonie に在り。Ardenns の廣漠なる森林が燃料を供給し、諸川が原動力を供給して居り又其處には多量の鐵鐵石が地表に近く存在して居た。19世紀の初期迄は之種の製鐵業が最重要なる位置を占めて居たのである。銑鐵は佛蘭西に輸出され、又、この種製鐵法は遠く瑞典迄に知られ始めた。

Liège 地方に於ては 14 世紀より石炭の開発は行はれて居たが製鐵業は兵器工又は鍛冶工に依り營まれて居たに過ぎなかつたが 1817 年、英人 John Cockerill 氏に依り初めて機械的設備を有する工場が炭山附近に建設せられ、1824 年には大陸に於ける最初のコークスに依る高爐の火入れが行はれたのである。この時分より Ardenns に於ける薪木に依る高爐は次第に廢止されコークスに依る高爐が炭山附近に増加して來て第 2 の製鐵中心地を作た。即ち 1 は Liège に於ける Meuse にして、他は Charleroi 附近、Hainaut 地方である、石炭は同地に産し、外國鐵鐵石は Antwerp より容易に輸入が出来たのである。1880 年以後 Bessemer 法の出現に依り Lorraine 地方の Belgium 側に於て Luxembourg と佛蘭西の國境に第 3 の製鐵中心地が設立された、この地方は近くに鑛床を有して居るが石炭資源には稍距つて居る。石炭の産地 Campine に於ては石炭の開発はこゝ 20 年來行はれて來たが製鐵中心地としての發達は未だ遅げられて居らぬ。1940 年 3 月 1 日現在に於ける Belgium の操業高爐數は 44 基にして、その半數は Hainaut 地方及 Brabant (Charleroi 地方)、 $\frac{1}{2}$ は Liège 地方、5 基は南部 Athus に在る。1914 年には高爐數 60 基であつたが其後の高爐操法技術的に發達に依り高爐數は現在の如く減少した。1919 年獨逸軍の侵入後は高爐にして破壊を免れたもの僅かに 9 基にして之は侵入者に依り徵發使用せられ約 40 基は完全に破壊された。之等を改造して小容量の舊式爐の代りに最新式大改良を加へられたる 250~400t の高爐が建設され、又仕事の合理化に依り労働者數を減じて製産の増大が計られた。1922~1934 年に於ける 1 人當りの製産高は高爐に於て倍額となり、製鋼工場に於て 129% の増額、歴延工場に於て 74% の増額を示した。1929~1935 に於ける年産額は 1 人當り高爐に於て 525~756t、製鋼工場に於て 334~464t であつた。

Belgium では鑛物銑の製産は餘り行はれて居らぬ。製鋼工場は主に鹽基性轉爐に依り(總數 90 基)この他に平爐 30 基、電氣爐 20 基を有して居る。斯の如く鹽基性轉爐作業を主とせる結果、Bel-

gium の工業では爾來高級鋼の研究が積まれて居なかつたが、今日では之等に關する研究盛となり、高級鋼製造法として注目さるゝものに Ugine-Perrine があり將來が期待されて居る。

原料の諸問題 大戰以來 Belgium の製鐵業は原料の供給に關して重大問題に直面した。この國の原料問題は一般に考へられて居る所に反し、外國鐵鐵石の不足は感じて居らぬが却て自國に産する石炭に不足を感じて居る状態である。南部に於ける Musson 及 Halanzy の 2 鑛山ではこゝ數年間に 150,000~200,000t と云ふ取るに足らぬ鐵石を産出して居るに過ぎぬ 3,000,000t の銑鐵を製産する爲には 9,000,000~10,000,000t の鐵鐵石を要するがその内 1,000,000t は瑞典、スペイン、Algiers より赤鐵鐵或はその他の富鐵として輸入され、Brittany 及 Normandy よりは炭酸鐵鐵及磁鐵鐵が 500,000t、又 Lorraine より磷酸鐵鐵が 6,000,000~7,000,000t 輸入されて居る。Luxembourg は Belgium と關稅同盟を結んで居るから Belgium に依て實際消費された Luxembourg 鑛に關する正確なる數字は得られて居らぬ(1913 年に於ける數字は 1,500,000t であつた)。

斯の如く Belgium に於ける製鐵業は多量の佛蘭西鐵鐵石の供給に依存して居る爲、開戰當時はこの供給が圓滑を缺き少くとも入國量は減少するであらう事を恐れられて居たが斯る事態は到來しなかつた。佛蘭西との取引相談に於て 10 ヶ月間に 6,000,000t の供給を受ける事に取決めが爲された。この數量は Antwerp 經由の他の資源及 Luxembourg よりのもと共に Belgium の工業に於ける原料を確保するに充分なものである。9 月に於ける鐵鐵石輸入量は 661,000t に低下したが今では月 800,000t 以上に増加して居る。然れども將來に對する見透しは全くつかず前線附近の Lorraine 鐵鐵山の開發が軍隊に依り妨害されたる場合は佛蘭西の輸出は絶絶するやも知れぬので瑞典及スペインよりの購入鐵石量を増加せんとして居る。

Belgium は多量の石炭を産するにも不拘コークスに關しては惡條件である。1 年間のコークス消費量は 7,000,000t にして Belgium に於けるコークス製産高は 6,000,000t を超えないのである。Belgium の炭山は良質炭を 30,000,000t 産出して居るがその内コークス用石炭の供給は充分ならず、1 ヶ月 500,000t のコークスを産出する Belgium のコークス爐設備は 700,000t の自國産石炭と 100,000t の外國石炭とを消費して居る。鑛夫の復歸労働時間の延長及昨年閉鎖したる Borinage に於ける重要計畫の復活等に依り、開戰當初 3 ヶ月間に於て減少した生産を今日では増加せしむる事が出来る様になつたが、一方佛蘭西との間に鐵石と石炭との交換條件が結ばれて居る爲、Belgium の製鐵業は獨逸及和蘭のコークスの他に尙外國石炭コークス化の爲特に Antwerp 及 Zeebrugge 附近に設立されあるコークス爐設備に供給する、獨逸、和蘭及英國の石炭を必要とする。然し之等の供給は各種の事情に依り規則正しき入手は困難である。以上の如くにして Belgium の製鐵業は、外國鐵石には不足を感じ無いが、自國産の石炭に不足を感ずると云ふ曲論的な状態に置かれて居る。

製産及販路 以上の理由に依り製産は増加し得ず辛じて需要を満す程度である。その製産は1937年に於て最も高く、1938年に減少し、1939年に再び増加し之等を表示すれば次の如くである。

	銑 鐵	鋼
1936	3,000,000t	3,100,000t
1937	3,840,000t	3,780,000t
1938	2,465,000t	2,210,000t
1939	3,070,000t	3,035,000t

9月に於ては急激に減少し銑鐵及鋼の製産額は約200,000tに低下したが10月より再び増加、1月にはコークスの不足に依り稍減少した、これを表示すれば次の如くである。

	銑 鐵	鋼
10月	255,000t	254,000t
11月	381,000t	289,000t
12月	314,000t	318,000t
1月	305,000t	315,000t

12月及1月の製産高は再び1937年の水準に達して居る。平爐鋼及電氣爐鋼に對する需要が増加した結果従來は銑鐵の製産高が常に鋼の製産高を稍凌駕して居たがその反對となり、市場より姿を消しつつある屑鐵の消費が増大されて居る。需要は國内外兩方面に相當量あり、國內需要は依然として國防方面が第一位を占めて居る。開戦當時は工場労働者の蒙た打撃は少からざるものがあつたが今日では却て職員の爲熟練工の不足に悩まされて居る状態である。目下の所建築材料及鐵道材料の需要が多く造船所にては12艘を建造中である。

輸出 輸出に關しては聯合國との協定に依り、英、佛に正規の市場が確保されて居る。Belgiumの海外貿易は戦争に依り悪影響を受けず需要に對して充分なる製産能力さへあれば益多く捌ける状態にある。建築物の禁止に依り鐵筋類の販路は減少したが型鐵、薄板及海軍用厚板、線、特殊鋼等の需要は甚だ大である。

和蘭、スカンジナビヤ諸國、バルカン及伊太利等に對する輸出 も亦相當重要なるものである然し製品の價格高き事が、海外販路に於て相當不利である。爲替相場關係及製造者のf. o. b. Antwerpの價格増加等の爲今日獨逸に依り奪取されて居る海外販路に於て競争する事は大いに不利である。獨逸は又英、佛に對しても、英、佛が各自の需要が満され無くなつた暁にはBelgiumの競争相手となるであらう。就中米合衆國との競争は南亞米利加、南亞弗利加及極東に於て相當激烈である、合衆國は航海上の障害及高價な運賃にも不拘Denmarkより大量の注文を受くる事さへ可能である。(註本文は獨逸がDenmark侵入敢行以前に記せられたるものである) 従てBelgiumに於ける今日の盛なる製鐵業は將來に於て危機を含むものであると言ひ得る。目下その市場は國內國外を不問非常に活況を呈して居るが之は一時的現象であるに過ぎぬ。

Luxembourgの工業 Luxembourg公國の製鐵業はBelgiumに於けるそれと異り鐵鑛石は豊富であるが石炭はその領土内には全く缺乏して居る。此處の工業は佛蘭西の國境附近隣接鐵鑛を産出する地方に於て鹽基性轉爐法が行はれて以來發達したのである。工業を集中的ならしむる事は既に前大戦以前より考慮されて居たが休戦後獨逸の所有權が佛蘭西及Belgiumに移ると同時に強化されBelgiumの製鐵業の總ては今日では次の三つの群の中に集中せられた。

Belgium群、Oúgree Marihaye, Rodange 製鐵所を操業し高爐3基を有す。

Hadir 群、Rumelange 及 Difberdange の諸工場にして後者は高爐10基を有す。

Arbed-Terre Rouges 群、Esch-Sur-Algette, Dudelange 及 Belval の諸工場にして高爐20基を有す。

鐵鑛石の供給は佛領土内の鐵鑛開發に従事すると同一の會社に依りLuxembourgの鐵石に依て確保されて居る、Luxembourgの鐵山は1939年に5,500,000tを産出しその一部は獨逸及Belgiumに輸出されて居る。佛蘭西よりの鐵石の輸入量は3,000,000~4,000,000tの間を上下して居り、製鐵業が佛蘭西の鐵鑛に對する依存は一部に過ぎぬがこの量は輸出を減ずる事に依て更に減少するを得るであらう輸出は9月初めより許可制となり之に依り政府は輸出量を戦前の水準線に調節して居る。輸出は又一面に於ては、同國工業に不可欠のコークスの輸入を確保するために必要にして獨逸よりコークスを得る爲に、戦前に於ける1ヶ月100,000t以上の鐵鑛輸出を今尙繼續中である。然しコークスの入手は頗る不規則にして往々作業の繼續を困難ならしむる事がありArbed社の如きは鐵鑛用貨車をコークス用貨車となし之を獨逸に送てコークスの供給を受けて居る始末である斯くの如きコークス入手困難が同國の工業の立場を不確實なるものたらしめ需要多きに不拘製産工場的能力を低下せしむるから、ある工業群の如きは獨逸コークスの使用を拒みその供給をBelgium及英國より仰がんと試みて居るものもある。

國內需要は僅か2%、Belgiumの需要は20%にしてLuxembourgの殆んど總ての製産は輸出に向けられて居るので1938年に於ては國內製産額銑鐵1,000,000t、鋼1,385,000tなりしものが大戦勃發と共に1/3に低下し多數の高爐は閉鎖された。

Luxembourgに於ては3會社に依り鑄物銑が製産されBelgiumに販路を有して居る。之等の諸會社は佛蘭西諸會社と共にComtiore de Fontes de Moulageを創立し大戦と共に解散したFig Iron Cartelに代てBelgiumの需要を満たして居る。近來Luxembourgの製品は外國販路に於て除々にBelgium製品と同様にその價値が認められて來た。(S. A.)

民需尙含ニッケル特殊鋼製造制限實施要領

昭和15年6月6日 商工省鐵鋼局

- 1, ニッケル鋼第一種乙及第二種乙の製造は之を中止すること
- 2, ニッケルクロム鋼第一種乙及第二種乙, ニッケルクロム鋼第三種乙, ニッケルクロム鋼第四種乙, 肌燒鋼第二種乙並に肌燒鋼第四種乙の製造は之を中止し、別紙含ニッケル特殊鋼臨時代用鋼成分規格表に定むる代用鋼を以て代らしむること、但し製造者の現に所有する純ニッケル又はフェロニッケルを使用する場合及含ニッケル鐵(含ニッケルルツペを含む)又は含ニッケル鐵屑を使用する場合、及商工省の承認を受けたる場合は此の限に在らず
- 3, 不銹鋼(Ni 8. Cr 18)に付ては製造者の手持ニッケルを使用する場合の外製造を中止し、可及的13クロム系不銹鋼其の他代用品を以て代らしむることとし、已むを得ざる場合に於ては商工省の承認を受け之が製造を爲すこと

含ニッケル特殊鋼暫定代用規格

本代用鋼に於ける材料強弱試驗規格は徑25mmの素材に付行ひたる場合とす

(I) 代用鋼第一種(ニッケル, クロム鋼第一種乙及第二種乙代用)

C	Cr	Si	Mn	P	S	降伏點	抗張力	伸	絞	衝擊值 (シャルピー)
%	%	%	%	%	%	kg/mm ²	kg/mm ²	%	%	kgM/cm ²
0.3~0.4	0.8~1.2	<0.35	0.5~0.8	<0.035	<0.035	60以上	75以上	15以上	45以上	10以上

(備考) 熱處理 { 焼入 800~850°C 肉厚 50mm 以上水冷 50mm 未満油冷
 焼戻 600~700°C 空冷 油冷又は水冷 }

(2) 代用鋼第二種 (ニッケルクロム鋼第三種乙代用)

C	Cr	Mo	Si	Mn	P	S	降伏點	抗張力	伸	絞	衝擊值 (シャルピー)
%	%	%	%	%	%	%	kg/mm ²	kg/mm ²	%	%	kgM/cm ²
0.27~0.37	1.0~1.5	0.2~0.3	<0.35	0.3~0.6	<0.035	<0.035	70以上	90以上	15以上	45以上	8以上

(備考) 熱處理 { 焼入 830~880°C 肉厚 50mm 以上水冷 50mm 未満油冷
 焼戻 580~650°C 空冷 油冷又は水冷 }

(3) 代用鋼第三種 (ニッケルクロム鋼第四種乙代用)

C	Si	Mn	Cr	Ni	Mo	P	S	抗張力	伸	絞	衝擊值 (シャルピー)
%	%	%	%	%	%	%	%	kg/mm ²	%	%	kgM/cm ²
0.28~0.35	<0.35	0.8~1.5	2.5~3.5	1.0~1.5	0.2~0.3	<0.035	<0.035	150以上	7以上	25以上	4以上

(備考) 熱處理 { 焼入 900°C 肉厚 150mm 以上油冷 150mm 未満空冷
 焼戻約 200°C 空冷 }

(4) 代用鋼第四種 (肌焼鋼第二種乙代用)

C	Cr	Mn	Si	P	S	降伏點	抗張力	伸	絞	衝擊值 (シャルピー)
%	%	%	%	%	%	kg/mm ²	kg/mm ²	%	%	kgM/cm ²
0.12~0.18	0.6~1.0	0.5~0.8	<0.35	<0.30	<0.030	45以上	70以上	12以上	40以上	6以上

(備考) 熱處理 { 一次焼入 830~900°C
 二次焼入 750~820°C } 肉厚 40mm 以上水冷 40mm 未満油冷
 焼戻 150~200°C 空冷

(5) 代用鋼第五種 (肌焼鋼第四種乙代用)

C	Cr	Mo	Si	Mn	P	S	降伏點	抗張力	伸	絞	衝擊值 (シャルピー)
%	%	%	%	%	%	%	kg/mm ²	kg/mm ²	%	%	kgM/cm ²
0.12~0.18	1.0~1.3	0.15~0.30	<0.35	0.5~0.8	<0.030	<0.030	75以上	85以上	15以上	40以上	5以上

(備考) 熱處理 { 一次焼入 820~900°C
 二次焼入 760~830°C } 肉厚 40mm 以上水冷 40mm 未満油冷
 焼戻 150~200°C 空冷

ニッケルクロム鋼肌焼鋼と同等代用鋼との比較対照表

●印は代用鋼

昭和 15 年 6 月 10 日發表 特殊鋼協議會

鋼種	Ni	Cr	C	Si	Mn	P	S	Mo	降伏點	抗張力	伸	絞	衝擊值 (シャルピー)	備考
ニッケルクロム 第一種乙	1.0~2.5	0.3~0.9	0.25~0.40	<0.35	0.35~0.65	<0.035	<0.035		>50	>70	>22			
同 第二種乙	2.5~3.5	"	"	"	"	"	"		>65	>80	>18			
●同上代用鋼		0.8~1.2	0.30~0.40	"	0.50~0.80	"	"		>60	>75	>15	>45	>10	800~850°C 油水 600~700°C 空油水
ニッケルクロム 鋼三種乙	3.0~4.0	0.5~1.0	0.25~0.40	<0.35	0.35~0.65	<0.035	<0.035		>75	>90	>15			
●同上代用鋼		1.0~1.5	0.27~0.37	"	0.30~0.60	"	"	0.2~0.3	>70	>90	>15	>45	>8	830~880°C 油水 580~650°C 空油水
ニッケルクロム 鋼四種乙	4.0~5.0	1.0~2.0	0.25~0.40	<0.35	0.35~0.65	<0.035	<0.035		>150	>7				
●同上代用鋼	1.0~1.5	2.5~3.5	0.28~0.35	"	0.80~1.5	"	"	0.2~0.3	>150	>7	>2	>4		900°C 空油 200°C 空油水
肌焼鋼第二種乙	2.0~3.0	<0.8	<0.18	<0.35	<0.6	<0.030	<0.030		>55	>30	>17			
●同上代用鋼		0.6~1.0	0.12~0.13	"	0.5~0.8	<0.030	<0.030		>45	>70	>12	>40	>6	第一次 830~900°C 油水 第二次 750~820°C 油水 焼戻 150~200°C 空冷
肌焼鋼四種乙	3.0~4.0	0.5~1.0	<0.18	<0.35	<0.6	<0.030	<0.030		>75	>95	>15			
●同上代用鋼		1.0~1.3	0.12~0.18	"	0.5~0.8	<0.030	<0.030		>75	>85	>15	>40	>5	第一次 820~900°C 油水 第二次 760~830°C 油水 焼戻 150~200°C 空冷

工業品規格統一調査會委員會

- (1) 6月中開催された委員會名並に議題
 - 1, 第1部第1委員會第2小委員會 クロム鋼及クロムモリブデン鋼 自動旋削用棒鋼
 - 2, 第1部第4委員會 壓縮ガス及液化ガス容器用弁
 - 3, 第1部第2部聯合第1委員會 耐火煉瓦規格中改正
 - 4, 第2部第5委員會 ボルトランドセメント強度試験法(軟練モルタルに依るもの)
 - 5, 第2部臨時第1委員會 牛革
 - 6, 第3部第11委員會(4回4日) 無線電信無線電話用受信機 船舶用B型1號無線電信装置 船舶補助装置用1號無線電信送信装置
 - 7, 据置用蓄電池に關する打合せ
 - 8, 第3部第14委員會 自動三輪車及二輪車用蓄電池 据置用蓄電池
 - 9, 第3部第15委員會 共電式局所屬共電式單式私設電話交換機(据置型)
 - 10, 電氣計器に使用する電氣用フェノールレジンの材質及試験方法に關する原案作成打合せ
 - 11, 第4部第1委員會第3小委員會 ねちゲージ
 - 12, 第4部第4委員會第2小委員會 フライス
 - 13, 第4部第12委員會 自動車用 14 耗點火栓 自動車用二又接手 自動車用フェルトパツキン及溝
 - 14, 第4部第13委員會(3回3日) 電弧熔接工資格檢定規程 熔接用形鋼
 - 15, 第4部第16委員會 工作機械精度檢査(横又は萬能フライス盤)
 - 16, 自轉車部分品に關する打合せ フレーム ギヤクラック ドロヨケ ハブ

- (2) 6月中決定せる臨時日本標準規格
 - 臨時日本標準規格第99號 耐火煉瓦
 - 同 第100號 壓縮ガス及液化ガス容器用弁
 - 同 第101號 表底革用牛革

日本學術振興會軸受研究第42小委員會用語決定

軸研第16號 昭和15年7月13日

學術振興會研究第42小委員會

委員長 紀伊壽次

日本鐵鋼協會長 渡邊三郎殿

用語決定通知の件

本委員會に於ては軸受の綜合的研究を目的として研究を進め居り候 此度本委員會に於て次記の通り用語を使用することに決定致し候間「貴學會」に於ても用語として採用被下候はば幸甚の至りに御座候

記

原 語	用 語
Plain bearing	滑り軸受

理 由

Plain bearing なる語は資源局, 工學會, 機械學會等の術語にも譯語なく, 從來平軸受, 普通軸受, 面軸受, 等多くの術語を使用され居り候へ共「滑り軸受」とする時はその作用を充分に表示し最も適當なる術語と思考せられ「滑り軸受」と決定せるものに御座候

製鐵用輸入原料配給等統制令

勅令第455號

製鐵用輸入原料配給等統制令

- 第1條 國家總動員法第8條ノ規定ニ基キ輸入ニ係ル製鐵原料ノ配給等ノ統制ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル
本令ニ於テ製鐵原料トハ鐵屑, 銑鐵(滿洲ニ於テ生産セラレタルモノヲ除ク)及鐵鑛ヲ謂フ
- 第2條 製鐵原料ノ輸入業者ハ其ノ輸入スル製鐵原料ヲ輸入ノ日ヨリ1月以内ニ商工大臣ノ指定シタル者(以下配給統制機關ト稱ス)ニ賣渡スベシ但シ特別ノ事由ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第3條 商工大臣ハ前條ノ規定ニ依リ賣渡ニ係ル製鐵原料ニ付配給統制機關ニ對シ價格, 數量, 賣渡先其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ其ノ賣渡ヲ命ズルコトヲ得
商工大臣ハ前條ノ規定ニ依リ賣渡ニ係ル製鐵原料ニ付配給統制機關ニ對シ其ノ配給, 讓渡其ノ他ノ處分, 使用又ハ消費ニ關シ必要ナル制限ヲ爲スコトヲ得
- 第4條 配給統制機關ガ前條ノ規定ニ依リ賣渡シタル製鐵原料ヲ買受ケタル者ハ其ノ製鐵原料ヲ讓渡シ又ハ之ヲ製鐵用以外ノ用途ニ供スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第5條 國家總動員法第27條ノ規定ニ基キ補償スベキ損失ハ第3條ノ規定ニ依ル命令ニ因ル通常生ズベキ損失(配給統制機關ガ賣渡シタル製鐵原料ノ價額ト其ノ買入價額ニ配給統制機關ノ手数料ヲ加算シタル額トノ差額ヲ含ムモノトス)トス
前項ノ損失ノ補償ニ關シ必要ナル事項ハ商工大臣之ヲ定ム
- 第6條 商工大臣ハ國家總動員法第31條ノ規定ニ基キ輸入ニ係ル製鐵原料ノ配給等ノ統制ニ關シ輸入業者, 配給統制機關若ハ配給統制機關ヨリ製鐵原料ヲ買受ケタル者ヨリ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ此等ノ者ノ事務所, 營業所, 倉庫, 工場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得
商工大臣前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

附 則

本令ハ昭和15年7月8日ヨリ之ヲ施行ス

第2條ノ規定ハ輸入業者ガ本令施行前ニ爲シタル賣渡ノ契約ニ係ル製鐵原料ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該契約ノ當事者ヨリ申出アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

商工省令第51號

製鐵用輸入原料配給等統制令第六條ノ證票ニ關スル件次ノ通定ム
昭和15年7月8日

商工大臣 藤原銀次郎

製鐵用輸入原料配給等統制令第六條ノ證票ニ關スル件

製鐵用輸入原料配給等統制令第六條第2項ノ證票ハ別記様式ニ依ル

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

[參照]

昭和15年7月3日公布勅令第455號製鐵用輸入原料配給等統制令抄録

第6條 商工大臣ハ國家總動員法第31條ノ規定ニ基キ輸入ニ係ル

製鐵原料ノ配給等ノ統制ニ關シ輸入業者、配給統制機關若ハ配給統制機關ヨリ製鐵原料ヲ買受ケタル者ヨリ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ此等ノ者ノ事務所、營業所、倉庫、工場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

商工大臣前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ
別記様式（用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス）

製鐵用輸入原料配給等統制令第六條ノ證票

(表
面)

第 號 昭和 年 月 日交付

官 職 氏 名

商工省印

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

製鐵用輸入原料配給等統制令第六條 商工大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ輸入ニ係ル製鐵原料ノ配給等ノ統制ニ關シ輸入業者、配給統制機關若ハ配給統制機關ヨリ製鐵原料ヲ買受ケタル者ヨリ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ此等ノ者ノ事務所、營業所、倉庫、工場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

商工大臣前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

(裏
面)

商工省令第 52 號

製鐵用輸入原料配給等統制令附則第 2 項ノ施行ニ關スル件次ノ通定ム

昭和 15 年 7 月 8 日

商工大臣 藤原銀次郎

製鐵用輸入原料配給等統制令附則第 2 項ノ施行ニ關スル件製鐵用輸入原料配給等統制令附則第 2 項ノ規定ニ依ル申出ヲ爲サントスル者ハ本令施行ノ日ヨリ一月以内ニ當該製鐵原料ニ付次ニ掲グル事項ヲ記載シタル書類ニ當該契約書ノ寫ヲ添附シ當事者連署ノ上之ヲ商工大臣ニ提出スベシ

一 種類、數量及金額

二 賣渡ノ時期

三 賣渡ノ場所

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔参照〕

昭和 15 年 7 月 3 日公布勅令第 455 號製鐵用輸入原料配給等統制令抄録

第 2 條 製鐵原料ノ輸入業者ハ其ノ輸入スル製鐵原料ヲ輸入ノ日ヨリ一月以内ニ商工大臣ノ指定シタル者(以下配給統制機關ト稱ス)ニ賣渡スベシ但シ特別ノ事由ニ依リ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

附則第 2 項

第 2 條ノ規定ハ輸入業者ガ本令施行前ニ爲シタル賣渡ノ契約ニ係ル製鐵原料ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該契約ノ當事者ヨリ申出アリタル場合ニハ之ヲ適用セズ

工業品規格統一調査會 7 月中委員會

(1) 7 月中開催された委員會各並に議題

1, 第一部第 9 委員會

黃銅素地“クロム、ニッケルクロム”メッキ

2, 第 2 部第 5 委員會

ポルトランドセメント強度試験法(軟練モルタルに依るもの)

3, 第 2 部第 19 委員會

再生ゴム

4, 第 3 部第 11 委員會(2 回 2 日)

無線電信無線電話用受信機

船舶補助装置用 1 號無線電信送信装置

5, 据置用蓄電池に關する打合せ

6, 第 3 部第 15 委員會

共電式局所屬共電式單式私設電話交換機

共電式局所屬磁石式單式私設電話交換機

磁石式局所屬磁石式單式私設電話交換機

磁石式局所屬共電式單式私設電話交換機

7, 第 4 部第 1 委員會第 3 小委員會(2 回 2 日)

ネヂ, ゲージ

8, 第 4 部第 4 委員會第 2 小委員會

フライス

9, 第 4 部第 12 委員會

自動車用二又接手

自動車用フェルトパツキン及溝

自動車用 14 mm 點火栓

自動車用打込塞板

自動車箱スパナ

自動車用リム

10, 第 4 部第 13 委員會

熔接用形鋼

電弧熔接工資格檢定規定

11, 第 4 部第 16 委員會

横又は萬能フライス盤の精度検査

12, 自轉車部分品に關する打合せ(1 回 2 日)

13, 整理委員會(2 回 2 日)

エナメル銅線

電線路用亜鉛メッキ鋼撚線

差示電流計(電信用)

抵抗減衰器(電信電話用)

自動車用蓄電池

電氣用銅線規格中改正

圓形硬銅電車線規格中改正

溝付硬銅電車線規格中改正

平角銅線規格中改正

電氣機器巻線用軟銅線規格中改正

舷窓

鐵釘(船用)

水ホース金物(船用)

鋼索用シンプル規格中改正

シャックル規格中改正

船内鋼製扉規格中改正

フック(船用)規格中改正

小形内燃機關試験

生ゴム

グリース及同試験方法

(2) 7 月中決定せる臨時日本標準規格

臨時日本標準規格第 102 號 黃銅素地クロム及ニッケルクロム, メッキ

” 第 103 ” 共電式單式私設電話交換機 (共電式局所屬据置型)

” 第 104 ” ” (磁石式局所屬据置型)

” 第 105 ” 磁石式單式私設電話交換機 (共電式局所屬据置型)

” 第 106 ” ” (磁石式局所屬据置型)

” 第 107 ” 再生ゴム

眞野文二博士長壽祝賀會開催賛成者募集

趣 意

肅啓益々御清祥之段奉慶賀候

扱て御承知の如く工學博士眞野文二氏は八十の高齡を迎へさせられ彌々聖徳昭顯顧問官として邦家の爲夙夜盡瘁せられ曩に長くも宮中杖御差許しの恩命を拜せられたるは御一門の御名譽として我等の慶祝に堪へざる所に御座候就ては同志相計り「眞野博士長壽祝賀會」を開催し記念品を贈呈して御榮譽を祝賀しその御功績を讃へ更に一層の御健康を祈り度と存じ候

何卒以上趣意御諒承の上下記要領に依り本事業に御協賛被成下候様切に御願ひ申上候右得貴意度如斯御座候 敬具

追而本計畫に就ては本春以來同志の間に議を進め居候處博士の御關係方面は頗る廣く殊に多年教育界に御盡瘁のことゝて師弟關係

の諸彦も多く隨て本計畫の發起人として御加名御願ひ致度向も不
 尠候得共種々事情も有之下名等のみ發起人と相成候ことに致し候
 間左様御諒承の上御協力願上候尙御案内洩も可有之と被存候旁々
 御知合の向へ御勧誘被下候はゞ仕合に存候

昭和 15 年 7 月 日

發 起 人

荒川 文六 加茂 正雄 河原田 稼吉 倭 國一
 朝永 正三 橋本圭三郎 平賀 讓 本多光太郎
 牧田 環 松方幸次郎

要 領

1. 贈呈品目

(イ) 眞野文二博士肖像畫 一面

(ロ) 記念品(發起人に御一任被下度)

1. 御承知の如く博士は書畫詩歌等に御趣味を持たせられ候に付
 色紙詩箋又は短冊等を以て成るべく多數祝意を寄せられる様希望致
 候(御送付先は下記事務所宛に願上候)

1. 眞野博士長壽祝賀式 昭和 15 年 11 月中旬(時局柄宴會は取
 止め、式後茶話會を催し度右茶話會に御出席の方は當日別に會費を
 申受候)

1. 御醸出金額は大體金五圓位を標準と致し度候得共増減は御任
 意に願上候御賛同の向は昭和 15 年 9 月末日迄に下記宛御送金願上
 候

東京市京橋區銀座 6 / 4 (交詢ビル)

財團法人國民工業學院内

眞野博士長壽祝賀會事務所

振替東京 80.088 番

特殊鋼研究に上島氏帝大へ寄附

大連市大華鑛業株式會社々長本會正會員上島慶篤氏は今回同社増
 資に際し金 10 萬圓を東京帝大工學部冶金學教室に於ける特殊鋼の
 應用に關する研究資金として東大へ寄附した。同氏は東京高工電氣
 科出身、大連に於て電氣製鋼に従事し、更に近年滿洲に於ける鐵礦
 山の開發に努力しつゝある積極的の事業家であるが、平素教育に意を
 用ひ同社幹部の出身校たる東京帝大の外、同氏の母校東京工大を初
 め諸學校團體等へ合計金 100 萬圓を寄附し、以て教育の振興に資せ
 んとするものである。

アグネ工學社金屬處理講習會要項

- 1. 期 日 昭和 15 年 9 月 9 日より 1 週間
- 1. 時 間 毎夕午後 6 時半—9 時半まで (3 時間)
- 1. 場 所 大阪府立工業獎勵館 (大阪市西區江ノ子島)
- 1. 聽 講 費 金 10 圓也 (前納の事)
- 特典 A. 雜誌「金屬」年極愛讀者 1 名 金 8 圓 50 錢也
 B. 團體聽講 (1 社 3 名以上) 1 割 引
- 1. 修了證書 全講習出席者に修了證書を授附します
- 1. 聽講希望者は即刻聽講費を添へ申込書に記入の上申込んで下
 さい。申込受付次第聽講券をお送りします。
- 1. すでに若干の豫約申込者もあり發表後は申込殺到の豫想です
 満員になれば申込を締切りますから速にお申込み下さい。お
 申込の際には一應お電話で事業部宛にお問合せ下さい。
- 1. 申込所 大阪市西區新町通四新町ビルアグネ工學社事業部專
 用電話新町 5513 番

◎講師並に課目

第 1 課 熱 處 理 概 論	講 師 大阪帝大工學部冶 金科教授工學博士	山 口 珪 次 氏
第 2 課 構造鋼の熱處理	講 師 神 戶 製 鋼 所 研究係主任工學士	高尾善一郎氏
第 3 課 工具鋼の熱處理	講 師 特 殊 金 屬 工 業 所 所 長 工 學 士	岸 本 浩 氏
第 4 課 非鐵合金の熱處理	講 師 住 友 金 屬 工 業 株 式 會 社 伸 銅 所 研 究 課 長 工 學 博 士	五十嵐 勇氏
第 5 課 滲 炭 及 窒 化	講 師 川 崎 航 空 機 工 業 株 式 會 社 材 料 研 究 課 長 工 學 士	渡 利 彦 四 郎 氏
第 6 課 高 溫 測 定	講 師 大 阪 帝 大 工 學 部 冶 金科教授工學博士	山 口 珪 次 氏

兵器工業會誕生 今般我國地上兵器製造に従事する有力會社を打
 つて一丸とする兵器工業會が設立せられた。現今の國際情勢の下に
 於て如何に軍備の充實が一日の儉安を許さざる緊要事であるかは多
 言を要しないところであり、而して軍備の充實も半ば兵器の精粗と
 その補給能力の大小によることは又謂ふを待たない。

この際に我民間主要會社が軍部との意思の疏通を圖り、官民一體
 和親協力互に智識を交換し、技術を練磨向上し、人的物的資源の不
 足を補ひ造兵報國の實を擧ぐる趣旨の下に本會を精成したることは
 誠に機宜に適したるものと云ふべきである。殊に我が國の如く天然
 資源の乏しい國に於て、物の不足を補ふためにはさしあたり技術と
 工業力の進歩改善に待つ以外に途なく、こゝに兵器工業に従事する
 全産業員が公益優先の新産業精神に徹した道義的經濟新秩序の確立
 に參畫して一路技術の向上を圖り造兵報國の全精神に燃へて、軍の
 緊急整備に即應せんとすることは時局下誠に意を強ふるに足るも
 のである。

本會は各製品別により、銃器部會、火炮部會、戰車部會、光學兵器
 部會、通信機部會、化學部會、工作機部會、軍用鐵鋼部會、軸受部
 會の九部會より成り、これら部會を綜合同一する本部としての兵器
 工業會の發會式が去 7 月 4 日軍人會館に於て擧げられ、陸軍大臣
 兵器本部長、陸軍省各局長、各造兵廠長閣下等その他關係各官廳よ
 り多數高官臨席し、株式會社日本製鋼所が理事長に選任せられ、名
 實共に兵器製作に携はる全國著名の全産業員を會員に網羅するに至
 した。會の事業としては官民聯合懇談會、技術研究發表會、講演會、
 機關紙の發行、工場の見學等が擧げられ、着々その具體的實行に移
 されてゐる。軍部よりは多數の顧問に本部並に各部會に差し向けら
 れ、軍との連絡並に種々の指導に當てゐる。

機關誌として旬刊「兵員工業」も刊行され已に數號を重ねるに至
 した。尙同會は現下日本の製鋼事業が主として輸入屑鐵に依存してゐ
 る點に鑑み、現在の設備を活用し我が勢力圏内の資源に頼り、自給
 自足以て經濟的に多量生産する方法を廣く一般に募らんとして「本
 邦製鋼方式に就て」の論文募集をなしつゝあるが、國防基礎器械確
 立の一助として製鋼事業に携はる者は勿論一般研究家の投稿を切望
 して止まない。尙應募方法等に関しては本誌に詳細廣告掲載してあ
 るから参照ありたし。

内外最近刊行誌參考記事目次

Journal, Royal Aeronautical Society, February 1940, Vol. XLIV.

Tide Water and Weather Exposure Tests on Metals Used in Aircraft. By W. Mutchler and W. G. Galvin. p. 214.

Journal, Institution of Automobile Engineers, March 1940, Vol. VIII.

Applications of Cast Iron in Modern Automobile Construction. By E. G. Toghil and R. V. Dowle. pp. 253-281.

A.S.T.M. Bulletin, January 1940, No. 102.

Service and Life of Non-Ferrous Tubes in Petroleum Refining. By E. S. Dixon. pp. 21-26.

Correlated Abstracts of the Literature for 1938 on the X-ray Testing of Materials. pp. 26-28.

Association de Technique Fonderie, Janvier-Février 1940, Quatorzième Année Nos. 1 et 2.

Les méthodes rapides de dosage des gaz dans les métaux. — Considérations sur le rôle de la chimie analytique en temps de guerre. Par G. Chaudron. pp. 2-7.

Principes généraux applicables à la préparation des alliages par fusion. Par A. Portevin. pp. 7-21.

Propriétés de quelques fontes au nickel-molybdène. Par M. Ballay et R. Chavy. pp. 22-31.

La normalisation des alliages cuivreux. pp. 33-34.

Aircraft Engineering, January 1940, Vol. 12, No. 131.

Steel and Duralumin Beams. By Leslie P. Dudley. pp. 12-14.

Non-Magnetic Materials for Aircraft. By R. Hadekel. p. 15.

Welding Technique in Aircraft Construction (1). Some Practical Hints on the Welding of Steel Tubes. By Kurt Queitsch. pp. 24-26.

February 1940, Vol. 12, No. 132.

Welding Technique in Aircraft Construction (2). By Kurt Queitsch. pp. 56-59.

April 1940, 12, No. 134.

Welding Technique in Aircraft Construction (3). By Kurt Queitsch. pp. 125-126.

Chemical Age, March 2, 1940, Vol. XLII.

The Carbonyl Process for Nickel (continued from Feb. 3 issue). p. 12.

Journal of the Society of Chemical Industry, March 1940, Vol. 59, No. 3.

The Determination of Cobalt in Foods. By N. D. Sylvester and L. H. Lampitt. pp. 57-60.

New Edition, American Chemical Society, April 10, 1940, Vol. 18, No. 7.

Vinylite Resins for Can and Container Coatings. By Arthur K. Doolittle. pp. 303-305.

Recueil des Travaux Chimiques des Pays Bas, Feb. 1940, Vol. LIX.

The Exact Measurement of the Specific Heats of Solid Substances at High Temperatures. XII. The Specific Heats of Iron-Nickel Alloys of Various Compositions between 100° and 1400°C. By A. J. Zuithoff. pp. 131-160.

Comptes rendus, 29 Janvier 1940, Tome 210, No. 5.

Sur le rayon l'électron et le calcul, de la constante photo-électrique des métaux. Par Théodore Ionescu. pp. 170-172.

Spectres d'absorption et niveaux caractéristiques de l'uranium, du platine et du tungstène. Par Yvette Cauchois et Ioana Manescu. pp. 172-174.

Émission de radiations ionisantes par les sels de métaux ordinaires. Par E. Thibaud. pp. 174-175.

1 Avril 1940, Tome 210, No. 14.

Sur une théorie corpusculaire de la conductibilité électrique des métaux. Par Théodore V. Ionescu. pp. 502-504.

8 Avril 1940, Tome 210, No. 15.

Altération des métaux par certains acides organiques dissous dans des liquides non aqueux. Par René Dubrisay. pp. 533-534.

4 Mars 1940, Tome 210, No. 10.

Sur l'attaque des métaux. Par Vasileşco Karpen. pp. 371-372.

Zeitschrift für Elektrochemie, Dezember 1939, XLV.

Production of Stable Niobium Nickel Alloys by Reduction of Niobium Pentoxide in the Presence of Nickel. Von G. Grube, O. Kubaschewski and K. Zwianer. SS. 881-884.

Monthly Review of American Electroplaters' Society, March

1940, Vol. XXVII.

Alkaline Cleaning and Copper Blistering. By E. A. Anderson and C. E. Reinhard. pp. 175-183.

A Discussion of the Common Complex Metal Cyanides in Cyanide Plating Solutions. By A. G. Tracy. pp. 195-201.

Journal, Institution of Electrical Engineers, February 1940, Vol. LXXXVI.

Heat Treatment of Steel by High-Frequency Currents. By G. Babat and M. Losinsky. pp. 161-168.

Engineering, 1940, Vol. CXLIX. (Cont'd.)

Test Piece for Investigating the Yield Point in Iron and Steel. By A. M. Baxter and C. F. Elam. pp. 176-177.

Vol. CXLIX.

Aluminum Bronze Gravity Die-Castings. By A. Street. pp. 159-161 and 190-191.

Thermostatic Bimetals. By S. G. Eskin and J. R. Fritze. pp. 212-213 and 223-224.

Engineer, March 8, 1940, Vol. CLXIX, No. 4391.

Some Observations on Metallic Arc Fluxes. By W. Andrews. pp. 224-226.

April 12, 1940, Vol. CLXIX, No. 4396.

The Mechanism of Magnetization (4). By T. F. Wall. pp. 342-344.

April 5, 1940, Vol. CLXIX, No. 4395.

The Mechanism of Magnetisation (3). By T. F. Wall. pp. 318-320.

Electricity Applied to Metallurgy. By A. P. M. Fleming. pp. 323-326.

Foundry, February 1940, Vol. LXVIII, No. 2.

Wear-Resisting Gunmetal Containing Nickel. p. 66.

The Foundry, April 1940, Vol. 68, No. 4.

Rapid Delivery is Pride of Jobbing Foundry. By Edwin Bremer. pp. 24-26.

The Foundry Industry and Army Ordnance. By Norman F. Ramsey. pp. 28-29 and 98.

Fundamentals of Cupola Practice. By Don J. Reese. pp. 30-32.

Avoiding Defects in the Non-Ferrous Foundry. By N. K. B. Patch. pp. 33 and 88.

New Foundry Builds Truck Engines. By Pat Dwyer. pp. 34-37 and 102.

Transactions, Faraday Society, March 1940, Vol. XXXVI.

The Theory of the Formation of Protective Oxide Films on Metals (2). By N. F. Mott. pp. 472-483.

April 1940, Vol. XXXVI.

An Electron Diffraction Study of the Surface Reaction between Nickel-Oxide and Corundum. By H. R. Thurst and E. J. Whitmore. pp. 565-574.

Transactions American Foundrymen's Association, June, 1940, Vol. XLVII, No. 4.

Production of Bronze Pressure Castings. By D. Frank O'Connor. pp. 769-778.

High Conductivity Copper Castings. By A. B. Kinzel. pp. 779-793.

Report of the Technical Director, Foundry Sand Research Committee. By H. Ries. pp. 803-804.

Progress Report on Investigation of Effects of High Temperatures on Steel Sands. By D. L. Parker. pp. 805-808.

Report of Progress of Sand Research on Steel Sand Mixtures at Elevated Temperatures. By H. L. York. pp. 809-830.

The Influence of Undercooling on the Graphite Pattern of Gray Cast Iron. By R. Schneidewind and C. D. D'Amico. pp. 831-853.

Rapid Temperature Measurements of Cast Iron With an Immersion Thermocouple. By Fulton Holtby. pp. 854-872.

Sixty Thousand Pound Per Square Inch Cupola Iron. By E. L. Roth. pp. 873-894.

Elements of the Petrographic Study of Bonding Clays and of the Clay Substance of Molding Sands. By Ralph E. Grim. pp. 895-908.

Some Tests on the Effectiveness of Water Blast Under High Pressure for Cleaning Castings. By Ronald Webster. pp. 909-924.

Practical Job Evaluation For the Small Foundry. By E. L. Roth. pp. 925-934.

Mineral Composition and Texture of the Clay Substance of Natural Molding Sands. By Ralph E. Grim and Carl S. Schubert. pp. 935-953.

Quality Pattern Equipment for Diesel Engine, Tractor and Road Machinery Castings. By J. E. Kolb. pp. 954-

- 975.
- Die Giesserei**, 5. April 1940, 27. Jahrg., Heft 7.
Mensch und Technik als Träger des Arbeits- und Berufseinsatzes in der Giesserei-Industrie. Von W. Weichelt. SS. 118-123.
Beitrag zur Zugfestigkeit von Gusseisen in Abhängigkeit von der Temperatur. Von F. Roll. SS. 123-124.
Pfannenzusätze für Gusseisen. Von E. Piwowarsky. SS. 124-125.
Ist Grauguss als Baustoff überhaupt zu ersetzen? SS. 126-127.
- 19. April 1940, 27. Jahrg. Heft 8.
Neue Blei- und Aluminium-Lagermetalle. Von M. Frhr. SS. 137-144.
Mensch und Technik als Träger des Arbeits- und Berufseinsatzes in der Giessenindustrie. Von W. Weichelt. SS. 144-147.
- Journal, West of Scotland Iron and Steel Institute**, Dec. 1939/40, Vol. XLVII.
Alloy Cast Irons in Steelworks Plant. By A. B. Everest. pp. 33-38.
- Iron and Coal Trade Review**, March 1, 1940, Vol. CXL.
Creep in Carbon and Molybdenum Steels. By H. J. Tapsell. pp. 369-370.
- Métaux & Corrosion**, Novembre 1939, 15^e Année, Vol. XIV, No. 171.
Étude du revenu de la solution solide aluminium-magnésium. Par J. Calvet, A. Guinier, P. Jacquet et A. Silberstein. pp. 139-147.
Remarques sur le forgeage des alliages d'aluminium à haute résistance. (suite et fin). Par G. Sachs. pp. 147-148.
Un nouveau procédé de protection et de soudure de l'aluminium et de ses alliages. p. 148.
- Décembre 1939, 15^e Année, Vol. XIV, No. 172.
L'emploi des diagrammes en rayonnement X monochromatique dans les recherches métallographiques. Par A. Guinier. pp. 151-155.
Agglomération par frittage de poudres de cuivre et d'étain pour la fabrication des coussints. Par H. E. Hall. pp. 155-156.
- La Metallurgia Italiana**, Gennaio 1940-XVIII, Anno XXXII, N. 1.
Impiego del minerale di ferro cromifero d'Albania. Per Gastone Garbaglia. pp. 1-9.
Il problema della resistenza dei materiali refrattari alle brusche variazioni di temperatura. Per A. Giannone. pp. 10-11.
La bauxite nella formatura dei getti di fonderia. Per C. de Luca. p. 12.
La "bainite": nuovo costituente nella trasformazione dell'austenite. Per V. de Nora. pp. 13-18.
Ernesto Stassano, pioniere della fabbricazione dell'acciaio elettrico. Per F. Giolitti. pp. 19-20.
- Marzo 1940-XVIII, Anno XXXII, N. 3.
Comportamento dell'agglomerato nell'alto forno. Per G. Garbaglia. pp. 79-83.
La scriccatura del lingotti di acciaio col cannello ossiacetilenico. Per G. Galbiani. p. 84.
- Machinery** (London), April 14, 1940, Vol. LVI.
The Blenheim Bomber in Production. Equipment and Methods Employed in the Manufacture of All-Metal Aircraft on a Large Scale. pp. 1-29.
- Motor Boat and Yachting**, April 6, 1940, Vol. LXXII.
Propeller Corrosion. Why It Occurs and How It May Be Diminished. By A. L. Young. p. 270.
- Marine Engineer**, March 1940, Vol. LXII.
Birth of a Propeller. Description of a Highly Specialized Manufacturing Process as Carried Out in the London Works of J. Stone and Co. Ltd. pp. 61-65.
- Moly Matrix**, Jan. 1940, Vol. VII.
Molybdenum Steels Used for Vital Parts of Pile Hammers. Ni-Cr-Mo and Ni-Mo Steels Meets Demands of a Hard Service. pp. 1-3.
- March 1940, Vol. 7, No. 3.
Molybdenum Steels for Modern Locomotive Service. pp. 1-3.
- Journal, Institution of Mechanical Engineers**, January 1940, Vol. CXLII, No. 3.
The Yield of Mild Steel with Particular Reference to the Effect of Size of Specimen. By J. L. M. Morrison. pp. 193-223.
- Machinist**, 1940, Vol. LXXXIII.
"Tocco Junior". Heat Treating Unit Surface Hardening Small Parts. p. 1095.
- March 30, 1940, Vol. LXXXIV.
Taking the Strain Off Stainless. By G. C. Kiefer. pp. 50-52.
- Mining and Metallurgy**, February 1940, Vol. XXI, No. 398.
Beryllium-Copper Casting Dies. p. 105.
- April 1940, Vol. 21, No. 400.
Biringuccio's "Pirotechnia"—A Neglected Italian Metallurgical Classic. pp. 189-192.
- Engineering and Mining Journal**, April 1940, Vol. 141, No. 4.
Philippine Base Metals Have Importance for Japan. By Ralph Keeler. pp. 51-53.
- Mechanical Engineering**, April 1940, Vol. 62, No. 4.
The Grain Size of Steel, 293-307.
- Revue de Métallurgie**, Février 1940, 37^e Année, No. 2.
Les aciers au plomb. Par Léon Guillet. pp. 29-36.
La qualité de l'acier et les aciers de qualité (à suivre). Par Albert Portevin. pp. 37-47.
Les possibilités de la sidérurgie allemande.—Ses efforts pour se suffire à elle-même (à suivre). Par L. Descroix et A. de Riva-Berni. pp. 48-60.
- Metal Industry** (New York), March 1940, Vol. 38, No. 3.
Finishing Band Instruments. By Frank K. Savage. pp. 132-136.
The Electrodeposition of Nickel from Nickel Chloride Solutions. By W. A. Wesley and J. W. Carey. pp. 137-147.
A Handy Tank Chart. By W. F. Schaphorst. p. 148.
Repair Welding, Brazing and Soldering of Light Metal Alloys. Conclusion. By Edmund R. Thews. pp. 149-153.
- April 1940, Vol. 38, No. 4.
An Investigation of Electrodeposited Gold Alloys. By V. C. Herschlag. pp. 194-196.
Automatic Bright Nickel Plating of Automobile Radiator Grilles. By A. G. Spencer. pp. 197-200.
Electrically Heated Hot-Dip Tinning Furnaces. By Wallace G. Imhoff. pp. 201-202.
High Speed Filtration. By Robert J. Green. pp. 203-205.
The Influence of Organic Compounds in Nickel Plating Solutions. By Ernest Raub and Max Wittum. pp. 206-210.
The Future of Electroplating. By Colin G. Fink. pp. 209-210.
- Machinery** (New York), April 1940, Vol. 46, No. 8.
Republic Steel Expands Facilities for Stainless Steel Production. p. 161.
- Metals and Alloys**, April 1940, Vol. 11, No. 4.
Trends in Refractories for the Basic Open-Hearth Furnace. Part I. By R. P. Heuer. pp. 95-98.
Steel Foundry Progress in Melting and Heat Treating. By Edwin F. Cone. pp. 99-102.
Testing Machines—Old and Modern. pp. 103-105.
Effect of Phosphorus in 5% Cr, 0.50 Mo Steel. By H. D. Newell and Z. E. Olzak. pp. 106-111.
The Rolling and Extruding of Lead for Chemical Equipment. By Fred P. Peters. pp. 112-117.
"18 and 8" and Related Stainless Steels. Part IV. By Walter M. Mitchell. pp. 118-122.
- Metals Technology**, April 1940, Vol. 7, No. 3.
Pitting of Stainless Steels. By H. H. Uhlig. pp. 1-22.
Solubility of Nitrogen in Liquid Fe-Cr and Fe-V Alloys. By R. M. Brick and J. A. Creevy. pp. 1-10.
An X-ray Study of the Alloys of Silver with Lead, Bismuth and Thallium. By Haim H. Chiswick and Ralph Hultgren. pp. 1-5.
Determination of Orientations by Etch Pits. By Charles S. Barrett and L. H. Levenson. pp. 1-8.
Formation of Inclusions in Steel Castings. By Walter Crafts and John J. Egan and W. D. Forgeng. pp. 1-18.
The Process of Precipitation from Solid Solution, I—A Crystallographic Mechanism for the Aluminum-copper Alloys. By Carl H. Samans. pp. 1-10.
Copper Embrittlement, IV. By L. L. Wyman. pp. 1-6.
- Metallwirtschaft Wissenschaft Technik**, 16. Feb. 1940, 19. Jahrgang, H. 7.
Quantitative spektralanalytische Bestimmung kleinster Mengen Eisen im Reinst-Aluminium. Von J. Wilken. SS. 121-124.
Übersicht über die bisherigen praktischen Erfahrungen mit Leichtmetallagern. Von M. Armbruster, Wiesbaden-Schierstein. SS. 127-133.
Magnesium: Produktion und Einsatz. Von E. Schuren. SS. 135-136.

- Errichtung einer Aluminiumindustrie in Niederländisch-Indien. Von O. Aust. SS. 136-137.
- 23. Feb. 1940, 19. Jahrgang, H. 8.
Die feste Löslichkeit von Chrom in Aluminium mit bis zu 2% Magnesium. Von W. Hofmann und R. W. Herzer. SS. 141-143.
Fortschritte mit einer Zink-Automatenlegierung. Von A. Burkhardt und W. Wolf. SS. 146-148.
Die neuen Stahlländer. Von E. Schuren. SS. 151-152.
- 1. März 1940, 19. Jahrgang, H. 9.
Über die Korrosionsbeständigkeit von Kupfer-Magnesium-Legierungen in Chlorgas, Schwefelwasserstoffgas und Schwefeldioxydgas. Von W. Baukloh und W. W. G. Krysko. SS. 157-160.
Das Oberflächendrücken. Von O. Föppl. SS. 162-164.
Metallwaren auf der Leipziger Frühjahrsmesse 1940. Von E. Meier. SS. 168-172.
- 8. März 1940, 19. Jahrgang, H. 10.
Über den Gold-Chrom-Widerstandwerkstoff. Von A. Schulze. SS. 177-181.
Das Oberflächendrücken. O. Föppl. SS. 182-185.
Der Aufbau der japanischen Aluminiumindustrie. Von H. Baum. SS. 187-190.
- 5. Januar 1940, 19. Jahrgang, H. 1.
Die neuen deutschen Reichs- und Schutzgebiete in der Metallbewirtschaftung. Von G. Brandt. SS. 2-6.
Zur Entwicklung neuer Verfahren fuer die Metallherzeugung. Von E. J. Kohlmeyer. SS. 6-7.
Die deutsche Maschinenindustrie im Zeichen der Produktionsausweitung. Von H. Leitner. SS. 7-9.
Metallwarenindustrie in der Umstellung. Von K. Kratzsch. SS. 9-10.
Verstärkter Einfluss der Rohstoffentwicklung auf die blechverarbeitende Industrie. Von A. Goeller. SS. 10-11.
Das metallverarbeitende Handwerk. Von G. Wenzlawski. SS. 11-12.
- 12. Januar 1940, 19. Jahrgang, H. 2.
Beitrag zur Metallographie von geschweisstem Stahl, Gusseisen und Temperguss. Von F. Roll. SS. 19-21.
Zerstörungsfreie Werkstoffprüfung an unmagnetischen Metallen. Von R. Claren. SS. 27-28.
Dickenmesser für Bandkaltwalzwerke. Von L. Dubois. SS. 28-29.
Zinnhuettenplaene in USA. Von H. Baum. SS. 32-33.
Steigende Goldgewinnung im japanischen Raum. Von O. Aust. SS. 33-34.
- 19. Januar 1940, 19. Jahrgang, H. 3.
Versuche zum Einfluss von Waermebehandlung und Verformung auf die Eigenschaften von einigen aushaertbaren Aluminiumlegierungen. Von H. Unckel. SS. 37-44.
Elektrisch beheizte Herdschmelzöfen für Leichtmetall. Von H. Dicks. SS. 46-51.
Entwicklungen in der internationalen Aluminium-Wirtschaft. Von E. Schuren. SS. 52-54.
- 26. Januar 1940, 19. Jahrgang, H. 4.
Untersuchungen an eisenreichen Chrom-Mangan-Legierungen. Von H. Legat. SS. 59-65.
Die Verwendung von Carbonylnickel zur Herstellung plattierter Bleche. Von L. Schlecht und G. Trageser. SS. 66-68.
Die kriegswirtschaftliche Bedeutung der kanadischen Metallindustrie. Von E. Schuren. SS. 70-72.
- 2. Februar 1940, 19. Jahrgang, H. 5.
Eine einfache Methode zur Bestimmung der Metallschwindigkeit beim Gießen. Von J. Leuser. SS. 77-79.
Untersuchungen an eisenreichen Chrom-Mangan-Legierungen. Von H. Legat. SS. 79-82.
Die Verwendung von Magnesium beim Bau von Elektrowerkzeugen. Von R. Hennings. SS. 84-87.
Das ATG-Doppelblech. Von C. Volk. S. 87.
Die Bewirtschaftung von Metallen in den ersten fuenf Kriegsmonaten. Von E. Wieprecht. SS. 90-94.
- 9. Feb. 1940, 19. Jahrgang, H. 6.
Die zulaessige Belastung von Walzwerkslagern in Abhaengigkeit von Temperatur, Stichaenge und Walzgeschwindigkeit. Von L. Weiss. SS. 97-101.
Die Werkzeugmaschine in der Massenfertigung. Von F. Olk. SS. 102-108.
Die Bewirtschaftung von Metallen in den ersten fuenf Kriegsmonaten. Von E. Wieprecht. SS. 109-111.
- Metal Progress, April 1940, Vol. 37, No. 4.**
Tubes for Oil Heaters, Titanium or Columbium in 5% Cr-Mo-Si Steel. By Herbert Habart. pp. 401-406.
Toughness Particularly of Tool Steel. By Robert S. Rose. pp. 407-411.
Lead-Bearing Steels. By James W. Halley and Edwin Dudley Martin. pp. 412-418.
Gas Engine Valves. By S. D. Heron, O. E. Harder and M. R. Nester. pp. 418-456.
Cooling Power of Quenching Baths. p. 427.
Hot Dip Galvanizing, A Review of the Process. By Herbert R. Hanley. pp. 431-435.
Sliding Friction and Vibration. By F. P. Bowden and L. Leben and D. Tabor. pp. 435-452.
- Metall und Erz, Januar 1940, Band 37, Nr. 1.**
Die Anwendung der Geophysik im Salzgitterer Gebiet. Von Dr. E. Brockamp. SS. 1-6.
Der Einfluss des Wismutgehaltes auf die Brauchbarkeit des Handelsbleies. Von Bergrat a. D. W. George ME. und Dr. F. Ensslin ME. SS. 6-8.
Über spanabhebende Bearbeitung von Zinklegierungen. Von Dr. H. Pontani und H. Barbier. SS. 9-13.
- **Band 37, Nr. 2.**
Unterbringungsmöglichkeiten für feinkörnige, schlammförmige Aufbereitungsabgänge. Von Dr.-Ing. Hans-Joachim Salau ME, Bad Grund (Harz). SS. 25-30.
Neue Vervollkommnung des alkalischen Verfahrens zur Zerlegung von Ton in reine Tonerde und Zement. Von o. Prof. Dr. William Guertler ME. SS. 30-32.
Die Bestimmung von Mangan, Magnesium und Blei in bleihaltigen Aluminiumlegierungen. Von Robert Bauer ME, Mitglied des Chemiker-Fachausschusses, und Josef Eisen. SS. 33-35.
- **Band 37, Nr. 3.**
Gesetzmässigkeiten deutscher Blei-Zinkerzgänge. Von Prof. Hermann Harrassowitz ME. SS. 41-46.
Neue Vervollkommnung des alkalischen Verfahrens zur Zerlegung von Ton in reine Tonerde und Zement. Von o. Prof. Dr. William Guertler ME. SS. 46-47.
Die Stoffwirtschaft der Metallhütten. Von Bergrat a. D. Willy George ME. SS. 48-51.
- **Band 37, Nr. 4.**
Gesetzmässigkeiten deutscher Blei-Zinkerzgänge. Von Prof. Hermann Harrassowitz ME. SS. 61-63.
Wasserfreie Fluoride, Eigenschaften und hüttenmännische Verwendung. Von W. Kroll ME. SS. 63-67.
Pulvermetallurgie und metallkeramische Erzeugnisse. Von Richard Kieffer. SS. 67-70.
Metallwirtschaft des In- und Auslandes, Zinnhüttenpläne in den Vereinigten Staaten von Nordamerika, USA im Kampf gegen das Weltzinnmonopol der Briten? Von George Birk. SS. 74-78.
- Nature, April 6, 1940, Vol. CXLV.**
Thermal Expansion of Invar. By L. F. Bates and J. C. Weston. pp. 550-551.
- Revue du Nickel, Janvier-Février 1940, 11^e Année, No. 1.**
Préparation et propriétés de la forme hexagonale du nickel. Par G. Leclerc et A. Michel. pp. 1-2.
Alliages au nickel-cuivre-cobalt pour aimants permanents. Par W. Dannohl et H. Neumann. pp. 3-6.
La locomotive "Santa-Fé" de la région de l'est de la S.N.C.F. Par M. Lentz et M. Metzler. p. 7.
- Journal of Applied Physics, Feb. 1940, Vol. II.**
Electrical Conductivity of Metals. By J. Barden. pp. 88-111.
- Proceedings of Royal Society, Feb. 21, 1940, Vol. CLXXIV.**
Behaviour of the Crystalline Structure of Brass under Slow and Rapid Cycle Stress. By W. A. Wood and P. L. Thorpe. pp. 310-321.
- Physical Review, Feb. 1, 1940, Vol. LVII.**
The Outer, Initial Permeability of Nickel from 10-70 Megacycles. By J. B. Hoag and J. L. Glathert. p. 240.
Ferromagnetic Anisotropy in Body-Centered Cubic Iron-Nickel Alloys. By L. W. McKeehan. p. 246.
- S.A.E. Journal, March 1940, Vol. XLVI, No. 3.**
The Wear of Crankshafts with Lead-Bronze Bearings. By C. G. Williams and H. Ludicke. pp. 93-99.
- S.A.E. Journal, April 1940, Vol. 46, No. 4.**
Modern Aircraft Valves. By A. T. Colwell. pp. 147-165.
- Sheet Metal Industries, 1940, Vol. XIV.**
How X-Rays May Be Used for the Testing of Welds. By N. Hirst. pp. 73-74 and 79.
Arc Welding the Stainless Steels. By E. J. Brady. pp. 76-77.
- Steel, April 1, 1940, Vol. 106, No. 14.**

Direct Radiant Firing Methods. By James Kniveton. pp. 36-37 and 100.
 Profits under the Social Security System. By C. B. Bartlett. pp. 38-41.
 Simple Open-Hearth Control. By Reginald Trautschold. pp. 44 and 39.
 Flame Descaling, Cleansing, Dehydrating. By J. G. Magrath. pp. 54-56.
 X-Ray Inspection. By H. R. Isenbberger. pp. 64-68.
April 8, 1940, Vol. 106, No. 15.
 Rubber Mountings for Industrial Equipment. By W. C. Keys. pp. 44-47.
 Continuous Casting. By Edwin R. Williams. pp. 48-49 and 56.
 Speeding Shipments. By O. J. Greenway. pp. 50-53.
 Tool Engineering Is Key Factor in Boosting Production. By Guy Hubbard. pp. 54-55 and 72.
 Protecting Motors in the Steel Mill. By G. A. Caldwell. pp. 60-62.
 Organizing a Weldery (2). By R. W. Sternke. pp. 68-69 and 79.
 Automatic Plating Machines. pp. 70-72.
 Instantaneous Forging Control. pp. 73-74.
April 15, 1940, Vol. 106, No. 16.
 War in Scandinavia Dislocates United States Steel Exports. pp. 23-24.
 Control of Fire Hazards. By P. W. Eberhardt. pp. 46-47 and 76.
 Stripsheet Annealing. pp. 48-49 and 72.
 Speeding Shipments (2). By O. J. Greenway. pp. 50-52 and 84.
 Brazing Aluminum Alloys. pp. 60-62 and 78.
 Spheroidizing. pp. 64-66.
April 22, 1940, Vol. 106, No. 17.
 Automobile Retain Lead, Railroad Gain, in Steel Consumption. pp. 21-24.
 Heating Solutions. By Dale Augsburg. pp. 46-49.
 Operator Fatigue is Minimized by Modern Machine Tools. By Guy Hubbard. pp. 50-52 and 83.
 A Chemical Polishing Method. By A. L. Feild and Irvine C. Clingan. pp. 54-56.
 Hydrogen from Dissociated Ammonia. By J. H. Gettig. pp. 58-59.
 Hearth and Bosh Areas. By J. P. Dovel. pp. 60-64.
 Automatic Soldering. By E. J. Stone. pp. 68-69.
 Conveyor Lubrication. pp. 70 and 84.
Tin and Its Uses, A Quarterly Review Issued by The International Tin Research and Development Council, January 1940, No. 4.
 Speculum Metal Brought Up-to-date. pp. 4-5.
 The New Thick Tin Lining. p. 5.
 Tin as a Strategic Material. p. 16.
Technical News Bulletin, National Bureau of Standard, January 1940, No. 273.
 Corrugated Metal Diaphragms for Aircraft Pressure Measuring Instruments. By W. A. Wildhack and V. H. Goerke. pp. 8-9.
Railway Mechanical Engineering, March 1940, Vol. CXIV.
 Aluminium Alloys Feature Construction of Missouri Pacific Eagle Trains. pp. 87-93 and 108.
The Welding Journal, April 1940, Vol. 19, No. 4.
 Flame-Hardening from the Standpoint of the Commercial Heat-Treater. By W. G. Hamilton. pp. 253-255.
 A Handy Clamp for Aligning Pipe—How to Make a Clamp for Holding Pipe in Line During Tack-Welding Operations. By T. F. Leach. p. 256.
 Designing Construction—Machinery for Production by Welding. By H. C. Hettelsater. pp. 257-262.
 Equipment for Pulsation Welding—Broadens the Field of Resistance Welding. Part II. By H. C. Cogan and Ralph S. Pelton. pp. 263-266.
 The Fabrication of Large Equipment by Welding. By Leslie S. McPhee. pp. 266-268.
 Stress Control Without Preheating—Preheating of Cast-Iron Pulleys and Gears is Unnecessary with These Welding Procedures. By F. F. Mooney. p. 269.
 Two Welded 20-Ton Screw Luffing Cranes. By D. T. Streithof. pp. 280-281.
 Discussion Rigid Frame Structures. By Martin P. Korn. p. 281.
 Standardized Ratings for Resistance Welding Contactors. By F. H. Roby. pp. 282-284.
 Welding Metallurgy. By O. H. Henry and G. E. Claussen.

pp. 285-287.
 Bayonne Technical High School Welding Department. By S. H. Moir. pp. 287-288.
 Welding and the Business of Shipbuilding. By E. C. Rechlin. pp. 288-292.
 A New Method of Welding Galvanized Sheets. By A. R. Eckberg. pp. 293-294.
 Bend Ductility Surveys. By Robert D. Williams. pp. 121s-122s.
 Brazing The Aluminum Alloys. By G. O. Hoglund. pp. 123s-125s.
 Theory and Application of Modulators for Seam Welding. By E. Rietsch. pp. 125s-127s.
 Discussions of Paper on "Effects of Alloying in Metallic Arc Welding." By R. H. Aborn and C. M. Offenauer. pp. 127s-130s.
 Recovery of Silicon in Oxyacetylene Welding Cast Iron. By P. R. Hall and R. M. Allen. pp. 130s-132s.
 Pilot Tests on Covered Electrode Welds. By H. J. Godfrey and E. H. Mount. pp. 133s-136s.
 Welded Rail for Mine Haulage Ways. By G. P. Boomsliker and C. H. Cather. pp. 137s-140s.
 The Fundamental Nature of Welding—Heating and Melting Effects of the Electric Current; Transition Structures with Their Physical Properties and Modes of Formation, in Spot and Resistance Welding. Identity of These Structures with Fire-Pressure Welds. By Donald E. Babcock. pp. 141s-145s.
 Effect of Rest on Fatigue Behavior. By K. Daeves, E. Gerold and E. H. Schulz. p. 145s.
 Abstract Symposium on Weldability. pp. 146s-159s.
 Peening of Gas Welds. By Georg Czernasty. p. 160s.

採鍊冶金月報 第18年 第6報 昭和15年6月

○大栗子溝鐵鑄床の概要及びその成因に關する一考察

駒屋 謙二 (201)

○ニッケルの製鍊 (1)

西原 清廉 (21)

資料彙報 第1卷 第10號 康徳7年5月

○歐米に於ける製鐵製鋼業視察談 (其2) 井門 文三 (43)

滿洲の技術 第17卷 第135號 昭和15年6月

○石炭液化工業と大連 阿部良之助 (239)

○アルミニウム工業の發達史 塚本 玄門 (257)

化學機械 第4卷 第2號 昭和15年6月

○金屬材料の腐蝕と耐蝕性について 山本 洋一 (3)

マグネシウム 第7號 昭和15年6月

○マグネシウム合金鑄物のX線試験 高瀬 孝夫 (1)

○耐蝕性マグネシウム合金板 麻田 宏 (65)

○靱性マグネシウム合金の研究 五十嵐 勇 (78)

○マグネシウムの過去, 現在, 未來 島田 乙駒 (82)

○マグネシウムの防蝕法並に耐蝕性マグネシウム合金 津田 信英・河上 益夫 (97)

航空研究所彙報 第189號 昭和15年5月

○鐵・ニッケル・アルミニウム三元平衡狀態圖 (4) 木内 修一 (145)

電氣化學の進歩 電氣化學特別號 昭和15年6月

○電氣爐 林 達夫 (59)

○電氣爐製品 (其の1) 杉野喜一郎 (64)

○電氣爐製品 (其の2) 舟木好右衛門 (69)

○電氣用カーボン 石川 等 (71)

○耐火材料 近藤 清治 (75)

○電氣製鐵及び鐵合金 藤原 唯義 (78)

○電氣製鋼 吉川 晴十 (80)

○電氣熔接 黄金井晴正 (81)

○濕式電氣冶金 小川 芳樹 (84)

○乾式電氣冶金 岡田 辰三 (86)

- 非鐵金屬及合金 河上 益夫 (90) 木野崎吉郎 (41)
- 鐵及鋼 同上 (93)
- 特殊鋼 佐藤 知雄 (95)
- 金屬の腐蝕及防蝕 山本 洋一 (98)
- 編譯彙報 第22編 昭和15年6月
- 電氣用具工業報告書
- 水曜會誌 第10卷 第4號 昭和15年6月
- アルミニウム中のガリウムに就て 原田 隆康 (223)
- 電氣製鋼 第16卷 第6號 昭和15年6月
- 砂鐵の還元に関する基礎的研究 (其の2) 小林 正美 (357)
- 電位差計に依る特殊鋼の分析法 (其の12) 野田 一六 (373)
- 工 具 鋼 (其の1) 錦織 清治 (397)
- 日本金屬學會誌 第4卷 第6號 昭和15年6月
- 鐵合金の耐酸性 (第6報)
Fe-Cr-Mn 系合金の耐酸性 村上武次郎・佐藤龍猪 (160)
- 洋銀の高溫度に於ける異常性に就て (第2報) 矢野 次郎 (163)
- 軟鋼の降伏點に於ける組織變化 田中 晋輔・高宮喜八郎 (185)
- 最近に於ける金屬學界の發達に就て 本多光太郎 (285)
- 威鏡南道北青郡泥谷面鐵鑛床調査報文 津田 秀郎 (50)
- 造兵彙報 第18卷 第4號 昭和15年6月
- 含銅鋼地金のスクラップより銅及鋼の分離回收に關する研究 三島 徳七・木越 安一 (11)
- 電氣鋸温器の試作に關する研究 石塚 行夫 (35)
- 炭素鋼に及ぼすアルミニウムの影響 彙報 掛 (117)
- 強 靱 鋼 同上 (132)
- 金 屬 第10卷 第7號 昭和15年7月
- 排氣管用材料 (562)
- 工業研究促進卑見 馬場 桑夫 (563)
- 鑄物の湯流れに 楠瀬 四郎 (567)
- 種々なる熱處理に於ける滲炭鋼材の機械的性質の變化 飛田 喬司 (575)
- 金屬の匍匐 (III) 清水 篤啓 (290)
- 鐵熔鑛爐内に於ける二、三の重要なる化學理論 (III) 本田 顯曜 (294)
- 内部歪と強磁性 (I) (翻譯) (297)
- 特殊鋼成分のポーログラフ法に依る定量 (II) (翻譯) (299)
- 日立評論 第23卷 第7號 昭和15年7月
- 高爐ガスの電氣的清淨に就て 橋本 清隆・千葉 寅雄 (363)
- 電氣鋼板の特性に及ぼす諸因子に就て 小野 健二 (388)
- 朝鮮鑛業會誌 第23卷 第6號 昭和15年6月
- 物理探鑛に依る朝鮮鐵鑛床の開發に就て 藤田 義象 (1)
- 磷及び磷鑛 (II) 山成不二磨 (10)
- 威鏡南道新興郡永高面永高黒鉛鑛山調査報文
- 牌樓屯を中心とする海城南方地域に於ける含タンタル・ニオブ鑛物の産狀並びに附近の地質 淺野 五郎・今村 善郷 (21)
- 鑛産資源として見たる海城縣下の含タンタル・ニオブ鑛物 淺野 五郎 (43)
- 牌樓屯を中心とする地域の含ニオブ・タンタル鑛物の化學成分に就きて 淺野 五郎 (49)
- 奉天省遼陽縣王千總嶺附近の放射能を有する赤鐵鑛 (輝鐵鑛) の産狀 淺野 五郎・今村 善郷 (55)
- 海城縣下タンタル・ニオブ鑛物産地視察によりて得たる 2, 3 の新事實 今村 善郷 (71)
- 特殊鋼の鍛鍊作業 黒川慶次郎 (583)
- 航空機材料に就て 荒木 鶴雄 (595)
- 工業國策 第3卷 第7號 昭和15年7月
- 瑞典鐵鑛の迹を訪ねて 上村 義夫 (47)
- 全ハガネ商聯盟會報 第2卷 第7號 昭和15年6月
- 最近の金屬學大觀 本多光太郎 (1)
- 燃料協會誌 第19卷 第213號 昭和15年6月
- 岡山縣下に於ける耐火煉瓦工業 藤田新三郎 (501)
- 日本鑛業會誌 第56卷 第662號 昭和15年6月
- 物理探鑛に依る朝鮮鐵鑛床の開發に就て 藤田 義象 (307)
- 地質調査所要報 第13號 康徳7年4月
- 海城縣析木城附近に於ける輝水鉛鑛床及びコルンブ石 (タンタル・ニオブ鑛) 鑛床の發見並びに調査報告 淺野 五郎・今村 善郷 (1)
- 地質調査所要報 第14號 康徳7年5月
- 滿洲の鐵鑛々床 淺野 五郎
- 地質調査所報告 第98號 康徳7年3月
- 安東省安東縣黒老島石菱苦土鑛床中に産する特殊角閃石・エデン石 (Edenite) の産狀並びに菱苦土鑛々床の成因に關する私見 淺野 五郎 (43)
- 弓長嶺産 Almandite に就て 淺野 五郎・岡田 重光 (51)
- 理化學研究所彙報 第19輯 第6號 昭和15年6月
- 鐵及ニッケルの單結晶の磁氣抵抗效果に就て 本多光太郎・廣根徳太郎・堀 伸夫 (850)
- 金屬材料の噴霧腐蝕試験に關する研究 山本 洋一・森 孝 (874)
- 日本機械學會誌 第43卷 第280號 昭和15年7月
- 鋼の組合せ曲げ振り疲試験 西原 利夫・河本 實 (352)
- 超デュラルミンの繰返引張壓縮耐久限度線圖 西原 利夫・小島 公平 (353)
- 鐵鋼及び輕合金の繰返曲げ試験 小野 鑑正 (355)
- 熔着鋼の匍匐性に就て 齋藤 哲夫・鈴木音次郎 (359)
- 九州鑛山學會誌 第11卷 第7號 昭和15年7月
- 洗炭から觀たる高爐用コークス品位 柴田與七郎 (293)
- 事變直前に於ける支那の探鑛及冶金 門屋 晃 (314)